

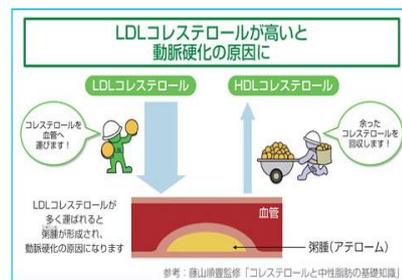
# 第20回「脳心血管疾患予防 健康教室」(2015年3月18日水曜日)

## 『高脂質血症治療薬について』 薬剤科 泉谷幸男 (薬剤師)

### ◇【薬物療法をはじめるときの注意】



●脂質異常症には、“コレステロール”や“トリグリセリド”（中性脂肪）が関与していますが、これらの値が高いと脂質異常症となります。脂質異常症の基本的な治療は、“悪玉コレステロール：LDL”を減らし、“善玉コレステロール：HDL”を増やすようにすることです。（「LDL↓、HDL↑」）



●“どうしても生活習慣が改善できない人”や、“生活習慣を改善しても血中脂質の数字が高いまま下らないとき”には、薬物療法も行うこととなります。一般の脂質異常症の場合には、食事療法を3～6ヶ月ぐらい続けてもコレステロール値や中性脂肪値が下がらないとき、薬物療法に入ります。

### ●脂質異常の薬

厚生労働省ホームページより

	LDLコレステロール	HDLコレステロール	中性脂肪	おもな働き
HMG-CoA還元酵素阻害薬	下げる	上げる		肝臓でLDLコレステロールが合成されるのを抑える
プロブコール	下げる			コレステロールが酸化し、血管に付着するのを防ぐ
陰イオン交換樹脂	下げる			腸の中でコレステロールと胆汁酸の吸収を抑える
ニコチン酸誘導体	下げる	上げる	下げる	脂肪酸が集まって中性脂肪になるのを防ぐ
フィbrate系薬	下げる	上げる	下げる	中性脂肪の合成を抑制する
EPA製剤			下げる	血小板の働きを抑制して固まるのを防ぐ

### ◇【薬物療法をはじめてからの注意】

●薬を飲み始めると、それに頼って暴飲暴食などをしてしまう人がいますが、生活習慣の改善・食事療法・運動療法等を行うことの効果は、コレステロールの合成や処理のシステムを調節し、正しい状態に戻そうとするものです。だから、それらは薬を始めても、基本として続ける必要があります。薬を飲んでいるからと安心せずに、根気よく自己管理を続けて、長い時間をかけて、じっくりとつき合う覚悟が大切です。

### ●《薬剤師からのお願い》●

- お薬手帳を持ちましょう。
- お薬手帳はひとり1冊に情報をまとめましょう。
- 医療機関にかかる際は必ずお薬手帳を提示しましょう。
- 何か異常を感じたら、医療機関にお問い合わせください。

